

戦時徴用船遭難の記録画展

鹿児島市宝山ホール 400通のアンケートから

80代から10代までの年代にわたる来場者のうち、400名の方がたから、貴重なアンケートを頂きました。すべてを掲載する事はできませんが、その一部についてご紹介いたします。

来場者のうち60数名の方がたから、沈没時の状況など調査依頼がありお答えしております。(敬称省略)



子供たちに囲まれて 下野純子さん

下野 純子 40代 (鹿児島市)
子供たち揃って記録画展を見るのができ、戦争の話ができて良かったと思います。



迫田勝宏ご夫妻

迫田 勝宏 60代 (鹿屋市)
まず、大久保一郎画伯の戦時中の船舶絵画に感銘を覚えました。当時の状況が良く描かれていると思いました。

戦争のむごたらしき、そしてそれにも増して言えることは、戦略なき、戦術なき、敵(相手)をほとんど研究せずに戦争に突入した当時の陸軍大本営、海軍軍令部の責任は未だまで消えることはないでしょう。命令で犠牲となられた船員、軍人の方々の気持ちは計り知れない。ご冥福を祈るものです。

迫田 綾子 60代 (鹿屋市)
戦争のむごたらしき、悲しみが胸を痛めた。



藤島けい子さん

藤島 けい子 50代 (鹿児島市)
母の兄が船舶学校卒業後、船に乗り沈没して亡くなり、遺骨も戻らずという話を聞いていたので、何かご縁があったのかと思っております。詳しい年月日や場所も聞いていず残念でした。母は四人兄弟の3番目で兄、兄、弟で、弟も長崎の原爆で亡くなり祖母が火葬したそうです。



床並繁さん

床並 繁 80代 (南九州市)
弟は18歳で教職認定合格通知を待

たず、佐世保海軍々属要員として南方戦場に輸送船團南下途中、昭和19年5月5日午前11頃米軍の魚雷を受けてあつけない若き生命を散らしました。お国のためと言いながら間もなく兄も昭和20年3月17日硫黄島で玉碎し、残りしは自分一人。過ぎ去りし64年前当時の再現を目の当たりにし、悲惨な戦争を二度と繰り返してはならないと声を大にして叫びたい。

外 純也 60代 (鹿児島市)

軍人でもない船員が6万人も死んでいたことや、之字運動航法など初めて知りました。定員オーバーで海に飛び込む乗組員など感動的でした。改めて戦争の悲惨さを知りました。

叶 英紀 60代 (鹿児島市)

戦時中、父の故郷に疎開していたが、田舎でも度々空襲警報が鳴り、緊張した記憶がよみがえり、この様なこともあったのだと、改めて戦争の悲惨さを感じました。

中城 信夫 80代 (鹿児島市)

昭和18年から20年終戦まで1万トン級タンカーに乗船していました。今日のビデオを見てよく生きてこられたものだと思います。船は飯野海運の「第二富士山丸」で行き先はシンガポールでした。

桑畑 千代子 60代 (南薩摩市)

涙が出て仕方がありませんでした、戦争だけは絶対にしてはいけな
いと強く思いました。

桑畑 文代 40代 (鹿児島市)

色々な資料で祖父の最期がわか
り、祖父も喜んでいることと思いま
す。

小学6年生の娘にはまだ難しい言
葉や事柄が多く、理解するのに少し
時間がかかりそうですが、これから
も戦争の悲惨さ、平和の尊さを勉強
させていきたいと思っています。

いつか、母と三人で慰霊碑を見に
行きたいと思います。本当にありが
とうございました。



左から 桑畑文代さん、千代子さん、
みことさん

桑畑 みこと 10代 (鹿児島市)

今までわからなかったひい爺ちゃ

んの事がわかり母も喜んでいま
きつと、天国にいるひい爺ちゃん
も喜んでいると思います。

私はこれを機会に戦争のことにつ
いてもっと勉強しようと思います。



アンケートを書く川村穂さん (右)

川村 穂 10代 (鹿児島市)

この絵を見て私は戦争の時は何
なふうだったのか、すごく分りまし
た。どのようにして船が沈んでいっ
たりとか、燃えたりしていくのが、
よく分る絵でした。

すごく戦争は大変だったんだなと
思いました。わたしは、どうしてた
くさんの人が亡くなったのか今まで
少ししか知っていませんでした。た
くさんのことを知る事ができた。

篠原 節夫 60代 (鹿児島市)

私の父も「東安丸」の船長をして

おりましたので、もしかして絵にあ
るかと思いき来館いたしました。



調査依頼を書く
篠原節夫さん

水溜 満 70代 (鹿児島市)

鹿児島市での2回目の開催であ
り、戦没船員の遺児でもある私にと
っては大変意義のある催しです。

戦後64年、戦後生まれの世代が多
数を占めるようになり、戦争の風化
が問われる現在、貴会の努力にはか
ねてから敬意を表している者の一人
です。願わくば多くの県民に足を運
んでもらい当時の船員諸兄の実情を
知ってもらうことが、現在の平和の
ありがたさを実感し、全国で一番船
員の犠牲者を出した本県民のせめて
もの供養になると思います。顕彰会
の今後の活動に陰ながら声援を送り
ます。



テレビ撮影に答える
水溜 満さん

堀之内いずみ 40代 (霧島市)

写真よりも激しさが伝わってくる
ような絵でした。沈没していく中で、
女性を助け出そうとしている絵が特
に印象的でした。

堀之内 柊真 小2 (霧島市)

かっこよかったです。びょうき
人をのせているふねを、こうげきし
ているのはわるいとおもった。

上室 稔 50代 (鹿児島市)

太平洋戦争で民間船がどのくらい
被害を受けたのか、よくわかりまし
た。大久保さんが描く生々しい悲惨
な民間船を日の丸や赤十字マークが
ありながらも、空爆や魚雷などで沈
んで行った乗組員たちの姿を絵で見
たのは初めてでした。

写真のような鮮明な絵をよく記録
し、保存されていたものです。

それにしても戦争とは軍艦だけ
なく丸腰の民間船もこんなに襲撃さ
れているとは知りませんでした。

いかなることがあっても、戦争は
二度と起こすべきでないと思つづく
思いました。

匿名 20代 (不明)

これほどたくさん絵があること
を初めて知った。戦時中の厳しい統
制の中、絵を書き続けた作者に感謝
したい。今、私たちがこのように「戦

「争」の一部分に触れることができるのだから。戦争中の海上輸送に関する国際協定などの決まり事、ルールの解説があったほうが良い。ビデオの内容を見て、軍部にはあされるばかりだった。「生命線」と言いながら、まったく守るつもりがないのだから。



取材に際して
飯田恭子さんとご主人

飯田 恭子 70代 (鹿児島市)
戦後64年になります、絵をもつて戦争の悲惨さを表現され感動しました。私の父も「高千穂丸」に乗っており昭和18年3月19日戦死しました。アメリカの物量には負けることはわかっているのに腹立たしいかぎりです。

「ゆくりなく父の乗りたる輸送船の轟沈するさま絵画にて見つ」

飯田 進 80代 (鹿児島市)

義父が戦死した「高千穂丸」(S18・3・19沈没)の絵があり深い感

銘を受けました。義父は召集により台湾の部隊に赴任中、基隆沖で潜水艦攻撃を受け一般客の誘導を終えた後、艦と運命を共にしたという。予備役の陸軍中佐であった。

小川 知郷 10代 (鹿児島市)

戦争の状況が絵に描かれていても迫力のある絵ばかりだった。自分たちは戦争のことをあまり知らないし、経験したわけではないが、とても恐ろしいものだったということが絵からとてもよく伝わってきた。今があることを当たり前と思っただけなら改めようと思った。



小川菜摘さん、
姉で鑑賞
知郷さん

小川 菜摘 20代 (鹿児島市)

戦争の絵を観覧したのは初めてだったので、とても心に残り感動しました。今日のことを今後も忘れないようにしていきたいと思っています。

田島 由美 30代 (鹿児島市)

テレビなどでしか、戦争のことを知らなかったので、沈んでいった

くさんの人達がいたことに驚きました。繰り返しはいけないおそろしいことだと思いました。



アンケート記入
左から田島由美さん、英司さん、美沙さん

田島 美沙 10代 (鹿児島市)

今回見て、知らなかった事とか、分らなかった事などをよく理解できました。描いた方が実際にあった事を絵にして、その絵がとてもリアルで、実際にあった出来事が、とてもさぞこだった。難しい事もあった。

田島 英司 10代 (鹿児島市)

絵がとてもリアルで、とても人の気持ちを知っている絵のあらわし方だった。

牧瀬 健斗 10代 (熊本郡)

船が攻撃を受け、沈没するまで必死で脱出を図る人たちの緊迫した様

子や船が炎に包まれる恐怖などが絵から伝わってきた。

二牟礼 正博 60代 (鹿児島市)

戦中の軍艦船の活動については語られることは多いが、民間船が軍に徴用され、無防備の中で戦争の隊列に組み込まれた結果、多くの犠牲を払うことになった悲劇が伝わってきた。病院船であった「ぶえのすあいらす丸」まで攻撃を受ける戦争のむごさを感じた。

今日の日本の平和が船員の方がたの尊い犠牲を礎にして築かれていることを自覚し、平和への活動を改めて決意した。

立棒 香代子 40代 (鹿児島市)

このような戦没船の絵を観たのは初めてだった。これまでもテレビや映画、雑誌等で戦争をテーマにした物を目にしたことはあったが、一枚の絵から戦争の起きた時代へタイムスリップしたかのように、当時のすさまじさが伝わってくるようであった。絵の世界からこれほどまでに伝わってくるのが驚きとともに感激しました。

だんだん戦争を知る人が少なくなっているというのを先日あるテレビ番組でも語っていた。今後、もう二度と同じ過ちを繰り返さないためにも、絵の世界を通して、今を生きる子どもたちに戦争の悲惨さを伝え



大学の友達三人で、中村拓夢さん
橋本真人さん

とてもすさまじくて、自分もその
場にいる気分になりました。ぼくは、
このたくさんの絵をみて、二度と戦
争や、みにくい争いをおこさないよ
うにしようと思いました。

立棒 智識 10代 (鹿児島市)

で欲しいように思った。今日の機会
を得られた事に感謝。



息子さんと一緒、立棒香代子さん

中村 拓夢 20代 (銚子市)
戦争の資料で徴用船の資料を初め
て見ました。ここまで鮮明に残され
ているとは思わず、とても驚いてい
ます。貴重な絵を見て記憶に残すこ
とができました。

橋本 真人 10代 (京都市)

高校の授業では、戦時中の海上輸
送の現実には触れず、国内外の状況
のみしか教えてもらっていない。今
日、偶然この展示を見て初めて知っ
た。非常に有意義かつ勉強になった。



乗船した船名が懐かしいと
川路 登さん

川路 登 80代 (鹿児島市)
終戦前「ぶえのすあいれす丸」に
乗船していた。なつかしい。

世良 周子 20代 (鹿児島市)
戦争はしてはいけないと言うメッ
セージを受け取りつつも、私はその
戦争を知りません。今回の記録画展
はその戦争を改めて考えさせられる
ものでした。



井上政人さん

井上 政人 50代 (鹿児島市)
このような輸送船を数多く失った
かと思うと非常に残念です。二度と
戦争の無い平和な世界でありますよ
うに。

永松 哲郎 60代 (鹿児島市)

海上輸送という視点からの戦争の
悲惨さや犠牲の大きさを示して、改
めて戦争に怒りを感じます。戦争の
風化を防ぐためにこのような催しを
続けられることを希望します。



学業の合間に来場
尻無濱洋敬さん

尻無濱 洋敬 20代 (鹿児島市)
この様な惨状を見ると非常に心が
痛みます。ビデオを見ると、展示さ

れている画はほとんど物資輸送船な
のでしよう。装備があまり整ってい
なかつたりして逃げるので精一杯と
いう状勢を画から強く感じました。
戦争は、軽はずみな判断で行なっ
ていいものではないと強く感じまし
た。

古橋 昭子 60代 (鹿児島市)

孫たちと一緒に来て良かったで
す。戦争の恐ろしさなどを知る事が
でき、孫たちも感動したと思います。

古橋 朋子 30代 (鹿児島市)

戦争が終わり、60年以上も経つ
に、まだまだ思い出される事が、こ
んなにもあるのは、おどろかされま
した。でも、決して忘れてはいけな
いことだと思えます。私たちよりも
若い世代にもっと戦争の恐ろしさを
伝えていかなければと思います。

松木園 富雄 50代 (鹿児島市)

今まであまり知らなかった、海軍
徴用船の実態 (実際は最期の姿) の
一面を絵画で見ることができ、戦争
中の大変さを感じる事ができた。
大久保氏が絵画に残された各船の
様子、乗組員の様子に感銘した。

迫 清蔵 70代 (鹿児島市)

見に来て身につまされました。鹿
児島本駅前で生を受け、春日町2番
地で育ったものとして、昭和20年7

父が海軍軍属、触雷で沈没して
たので詳しく知りたくて来ました。
(片平 耕介 10代 同行)



息子の耕介さんに父のことを
教えたいという片平伸次さん

月27日、駅の悲惨な有様は、昨日、
今日のように思い出されます。駅付
近を通行するときはいつも心で手を
合わせています。



事務局から聞き、調書を書く、
迫 清蔵さん

祖父の船の絵がなかったのは残念
ですが、当時、大日本帝国の戦いが
リアルに感じ取れました、軍人や一
般人多数の方が亡くなられて悲しい
気持ちになりました。

植村 和弘 40代(鹿児島市)

父のことを思い胸がいたましま
した。昨年観音崎での慰霊祭に行きま
す。もう一度行きたいと思ってい
ます。

植村 睦子 70代(鹿児島市)



右 植村睦子さん、
双子の息子さんと一緒

若い人が少なく残念です。身内に
被害にあったから私は知りえませんが、世間的にはまだまだ知らない人
が多いと思う。学校関係や団体への
周知をもっと頑張ってほしい。私の
職場は、北九州の門司港にあり、船
関係の会社が多いので、門司港での
画展の開催をお願いしたいです。

植村 和佳 40代(北九州市)

大内 初陽 20代(鹿児島市)



受付をした田中史代さん(右)
来場した大学の先輩大内初陽さん

どの画も生々しく、迫力がありま
した。当時の光景が、想像でしかあ
りませんが、頭の中に浮かんできま
す。波の音、爆発の音、仲間を呼ぶ
声や助けを求める声など、現場の状
況や人々の想いが訴えてくるよう
です。私は戦争を体験した事がありま
せんし、教科書もその実情までは教
えてくれません。無意識のうちに忘
れがちで、戦場における「人間」の
存在を、絵画は伝えてくれました。
戦争は二度としてはいけないし、
させてはならないと強く感じました。
ビデオを観て、当時の日本の政治
家や軍上層部の方の発言・決定に
は、怒りを覚えました。生活を犠牲
にしてまで戦争を続けるという考え
方は、絶対におかしいと思います。
またあんなにもたくさんの方が犠
牲になっていたことも知りませんで
した。

徴用された船の中には漁業用小型
船舶も含まれ、漁業従事者も多数亡
くなつたと聞き、第一次産業従事者
までも戦争に駆り出さなければなら
なかつた戦争の悲惨さ、無意味さを
改めて痛感しました。
水産業と第二次世界大戦と言う日
本史の授業ではおおよそ触れられない
ことを実際に経験された方々から聞
くことができ、大変貴重な体験とな
りました。

鹿児島は、戦没船員数が全国一多
いということもあり、船または海に
縁のある方に多くご来場いただいた
ように感じます。

田中 史代 20代(さいたま市)

600万トンが二十分の一まで減
るとは被害の壮絶さを物語っていま
す。それだけ人も犠牲になっている
ことも、私は忘れてはならないと思
いました。さらに植民地となった国
々の人々の生活も、戦争によって破
壊されていったことを改めて思い知
らされました。たくさんの方が亡く
なられた事実を、胸を打たれました。
本日は、このような貴重な絵画展
を開催いただき、ありがとうございます。
また大久保画伯、証言を頂
きました方々にも、心からお礼を申
し上げます。戦争の記憶が途絶える
ことのないよう、これからも是非、
絵画展を続けていただきたいと思います。
ます。

ご遺族のお便り

北海道網走市 森 亮一



森亮一さん

本日は「潮騒」28号を贈呈くださりまして有難うございました。

5月14日、第39回戦没・殉職船員追悼式に参加する機会を下さり、重ねてお礼を申し上げます。

自分に繋がる肉親の死をこの地で慰霊していただく情景を見て、深く感動して参りました。

私はたった一隻の陸軍徴用船「太平丸」の遭難事故を追いつづけておりますが、空白の歴史を埋めることの大切さを再確認できました。

今年「北暎の墓標」―北千島に眠る陸軍輸送船「太平丸」―中編―を執筆中ですが、救助に向かった護衛艦「曙」―「潮」に視点を移し、「太平丸」に迫ろうと計画しております。来年も機会をつくり参加いたしたく存じます。北辺の地より、海難事故がおきないことをお祈り申し上げます。

横浜市中央区 山田 三義

この度は、戦没者船員等の件につき各方面への調査をしていただき、本当に有難うございました。戦後六十余年、父、兄の戦死の事すら、私の心の中から薄れかけていました。

まさか父、兄が靖國へ合祀され観音崎の「戦没船員の碑」にまで奉安されていたとは知ることもありませんでした。皆様のおかげで、このことを知ることができまして私の心の中に父と兄が帰って来たような気持ちになりました。近日中に鹿児島へ帰りますので、この事を2人の墓前に報告してきたいと思えます。

近くの観音崎、靖國に父、兄が奉安されていたことも知らず昨年のお盆に靖國へ行ったことが今日の、このことにつながったかの思いになり感傷に悲しくなりました。

今日(10月1日)、マンションにお住まいの坊さんがおり、この人は個人的なお付き合いがあり、送って頂いた書類を見ていただき、「これは僧侶の私の仕事柄何かの縁がありぐつとくるものがある。お父さんと兄さんの霊にお経をあげさせてほしい」とのこと、その坊さんがお経をあげてくださいました。この話をお聞きしてから、物事が何もかも巧くいくことがとても嬉しいのです。皆さん本当に有難うございました。紙面にて厚く御礼申し上げます。

鹿児島県指宿市 高橋 美夏

8月に鹿児島県で行われた「戦時徴用船遭難の記録画展」の会場で、祖父・三原正司についての調査を依頼した高橋と申します。

その後、川崎汽船の方から資料発見の連絡を頂いた際は、こちらが電話に出なかつたために、いろいろとお手数をおかけし、大変申し訳ありませんでした。

おかげ様で無事、当時の資料が手元に届き、家族と一緒に目を通すことができました。母は手がかりが非常に少なかつたこともあり、当時の資料が出てくるとは全く期待していません。川崎汽船から、資料発見との連絡を頂いた際は非常に驚いておりました。

祖父が戦時中乗っていた船は、ほ



資料を調べる高橋美夏さん

とんどがインターネットで当時の資料を見つけることができ、その中でも、昭和20年の1月に連合国側の攻撃により沈没した「久川丸」に、祖父が沈没の直前まで乗船しており、祖父の父(私から見れば曾祖父)が亡くなったために下船したおかげで難を逃れたことが分かり、祖父が何故当時のことを家族にほとんど話さなかつたのかを理解しました。

また、今回川崎汽船から送って頂いた資料の中には、祖父の個人経歴書の他に、終戦後、祖父が川崎汽船に宛てて送った手紙のコピーが入っておりました。その手紙は漢字と平仮名で書かれたものだったので、祖父はカタカナしか書くことができなかつた人間なので、おそらく、親戚の誰かに頼んで書いてもらったのだろうと母は考えているみたいです。

私は生前の祖父とあまり話したことがなかつたのですが、家族の看病のために、船に乗ることを断る内容の手紙を読み、祖父が家族のことをどう思っていたのか、初めて知ることができました。

祖父は戦争で亡くなったわけではなかつたので、皆様には、当時の資料を探す上でご苦勞をおかけしたと思います。いろいろとご無理を言ったことをお詫び申し上げます。

今回送って頂いた資料は今後大切にします。本当にありがとうございました。



殉職船員遺族援護事業



みんなのおたより

僕の夢

宮城県 阿部 憲資
 僕の将来の夢はプロのバスケット選手です。

まだチームに入って一年しかたっていないけれど、六年生が四人しかいないので、いつもベストメンバーです。練習は男女一緒に、とってもキツイです。でも確実にうまくなっている仲間と遊べるのでうれしいです。あとたまに練習に来てくれる先輩のシュートの打ち方やチームワークなんかいっぱい勉強になります。僕のチームのコーチは怒るとすごく怖いですが、でも僕たちの事をいつも考えて思ってくれています。勉強もバスケもどちらも頑張れといまします。夏休みに宿題をしないで練習に行ったら帰されました。でも色いろなことを教えてくれとても尊敬できすぎく大好きです。

だからプロのバスケットボール選手になって、頑張っていると観

てほしいです。なれなくてもコーチみたいに子供達に教えられる指導者になりたいです。



阿部憲資くん



宮城県 阿部 悦子
 日々ありがとうございます。

息子は九月初めに会津に修学旅行へ無事に行ってきました。とても楽しかったようで、おみやげに木刀を買ってきました。

最初にお世話になった長女も今年で二十歳に！ 成人式に参加するようになります。

次女も大学受験と楽しみがいっぱいあります。

私の夢

宮城県 阿部 江理華

父が亡くなってからあつという間の時が過ぎ、私は今年成人式を迎えます。

高校を卒業し、誰かのために役に立つ仕事かと思いい老人ホームにヘルパーとして就職しましたが、壁にぶちあたり一年と少しで辞めてしまいました。

現在、アルバイトをしながら就職活動中ですが、最終的な私の夢は、結婚をしていいお母さんになることかな？

私の母は父が事故で亡くなったあとも一人で三人の子供を育ててきました。色いろあつたけど頑張っている母を一人の人間として尊敬するからです。

やつと二十歳もう大人？？まだまだ手探り状態の私です。遠回りするかもしれないし迷惑も心配もいっぱいかけるけど少しずつでも成長していきたいから、あつたかい目で見守って下さい。

宮城県 高橋 弘子

いつもお世話になりありがとうございます。今年夏休みもほとんどなく補習や講習で勉強をがんばっております。そのまま高校へ行きたいです。

いようです。この頃はすぐ自分の部屋へ行ってしまう親としては自立して来たことにうれしいようなさみしいようなチョッと複雑な気持ちです。

高知県 岡元 美紀
 いつもありがとうございます。

徳島県 鎌野 智美
 季節はもうすっかり秋になりました。いつもお世話になってます。勉強、部活に頑張っています。

三重県 大竹 初美
 いつも送金ありがとうございます。夏休みが終わり早一ヶ月、子どもたちはすっかり学校生活に慣れ、毎日元気に登校しています。

先日は、世界体操大会が三重県伊勢市で開催され、見に行つて来ました。体操（フープやリボン）の世界の技のすばらしさに感動しました。

日頃、観ることのできない大会なので、本当によかったです。きっと子供の心にも残つていくはずですよ。

宮城県 中野 幸枝

いつもありがとうございます。気仙沼ははや、晩、冷たい風が吹くようになりました。インフルエンザもはやつた時もありましたが、子どもたちは風邪もひかず、今のところ頑張っています。



戦没船員の碑 広場

海の日清掃



恒例の海の日清掃が、横須賀海洋少年団と共に海の日前日の7月19日に行われた。

海洋少年団団員16名、指導者・父母等関係者17名及び本会の役職員が、戦没船員の碑に集合する頃、朝からの曇り空が、にわかには晴れ渡り、絶好の清掃日和となった。

団員達は、同団指導者の松浦さんから「この碑は昔あった戦争の時に海で死んだ船員さんたちや、君たちの生活に大切なものを運んでくれたりして海で働いて亡くなった船員さんたちのお墓のようなものです。いまの君たちの生活があるのは、こういった歴史の上にあります。」

今日は、その船員さんたちの御霊が安らかにねむれるよう、ふざけないうお話を聞いたあと、「手に手にぞうきんやほうきを持ち、5月からたまったほこりを拭いたり、落ち葉を掃き清めたりした。」

清掃終了後、団員たちは広がる青い海に向かってたつ碑に白菊を捧げ黙祷した。
白居理事長から「清掃ご苦労様。」



一生懸命掃除をする海洋少年団員達

今日あなただちが、掃除した碑には、二つの願いが込められています。ひとつは亡くなった船員たちが、心安らかに眠って下さいということ。二つ目は、海が永遠に平和で安全であってほしいということ。あなたたちがこれから海で活動する時には、波が静かで穏やかであってほしいと祈りましょう。」と挨拶の後、団員全員にお楽しみプレゼントが手渡された。
薫風かおる丘の上で、団員たちはにぎやかにお弁当を楽しんだ。
きれいになった慰霊碑と碑前周辺は来る8月15日の終戦記念日の式典を待つばかりになった。

戦没船員の碑を掃除して

津久井小学校2年

松浦 慎弥

掃除して、碑に入っている人が、野原のような広いところにいるような気がした。きれいになって良かった。

船は鉄でできているから強いと思う。海は波が立っているから波浪警報が出る。船には乗りたい。氷山などがあるからこわい。



戦没船員の碑に向かいみんなで献花

大津小学校6年

齋藤 涼汰郎

竹ぼうきを使って左の親指が痛くなった。始める前は汚れていたが、最後はきれいになって良かった。一年前よりゴミが少ないと思う。

ました。慰霊碑のことは6万人も亡くなった事なので悲しいと思った。碑のことは友達と話し合ったことはないが、海は好きなので船に乗りたいです。
小学校2年生の女子団員

掃除して気持ちよかった。すっきりした。
小学校2年生の男子団員

きれいに掃除したので亡くなった人たちが気持ちよく眠ってほしい。

海の日

祝日化される前は海の記念日という記念日であった。海の日は、1876年(明治9年)、明治天皇の東北地方巡幸の際、それまでの軍艦ではなく灯台巡視の汽船「明治丸」によって航海をし、7月20日に横浜港に帰着したことにより、1941年(昭和16年)に通信大臣村田省蔵の提唱により制定された。1996年(平成8年)「海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願う日」として国民の祝日として制定された。
毎年7月は「海の月間」として、

国や地方自治体、海に関する団体などが全国各地で様々なイベントを開催しており、その数だけでも80を超えるといわれている。

投稿

戦争は絶対しないで

鹿兒島市 平山豊次



テレビ取材にも応じた平山豊次さん

戦時徴用船遭難の記録画展が、鹿兒島市の宝山ホールで開催された。

9月3日会場に入ったら、兄が戦死した「高千穂丸」の画を食い入る様に見ておられる老夫婦の姿が強く印象に残った。隣室では戦争を知らない方々が十数名無言でビデオを見ており、遭難船員の苦悩を理解して、絶対に戦争をしてはいけないと思っておられると感じた。

昭和18年、私が乗船中の天城山丸は5月中旬、武器を満載して名古屋を出港しラバウルに陸揚げした。

ラバウルの海軍航空隊の所属で、パルクパンより航空用ガソリンをラバウルに運んでいた。航行中に魚雷攻撃を受け、後部船倉の船底を損傷浸水し、トラック島で海軍工作艦の修理で復旧した。

8月にパルクパンで積荷中に敵機の空襲を受け、海軍軍人1名が戦

死し船長他3名が負傷、病院に収容されてから、船長も亡くなられて乗組員は深い悲しみを味った。

昭和19年2月17日、早朝よりトラック島は大空襲を受け、飛行場は火の海と化し爆発が次々と続いた。

軍艦は出動したが、商船は敵機の餌食となり、次々に沈没し泳いでいる時に「天城山丸」が沈んだ瞬間、涙がこぼれた。湾内狭しと感じた昨日の艦船は総て消滅した。

4月初旬に帰国し、5月に信号1級を取得したら、直ちに門司港で「第三蓬萊丸」に乗船した。

神戸市の須磨船員訓練所に勤務中の9月初旬、入港中の「帝楓丸」に乗船し、直ちに釜山港(現在の韓国)へ向かった。釜山港で陸軍軍人(旧関東軍)約2000名と軍馬20頭位を積んで、六連湾に来て20隻の船団を組み南方に向ったが、沖繩近海より軍馬の死亡が続き、水葬を数頭行つた。係の輜重兵が舷縁に頭をすりつけて涙を流して、見送る姿に感動した。

軍馬の死亡を防ぐために、船団から離脱して台湾の高雄に入港し軍馬を陸揚げして、3日間訓練する事に

なり、同乗の兵隊にも上陸許可が出た笑顔が見えた。

軍馬が快復し、バシー海峡に入ったら敵潜水艦より魚雷を受けて2隻が沈没した。

10月中旬、11隻の船団でマニラを出港したが、夜になり雨風も強く波も高く台風並みの大時化で、視界ゼロだった。20時より当直に入り、船首より左右の暗闇を見張っていた。ドーン、ドーンと音が聞こえるが、何だろうと思いつながら、見張りを続けていた。雷の音と共に一瞬閃光が走った。

友よ助かって！

「あっ白根だ！」と思わず叫んだ、右前方で「白根山丸」が左に傾き船尾が高く見えた。一倉さん、林田さん、行弘君、稚山さんの顔が浮かんだ。助かってくれと祈りながら、この時化ではと、絶望が交差して暗闇の海を見ながら涙にくれた。魚雷が当たれば同じ運命だと、長く悲しい当直だった。

翌日の夕方、護衛艦より発光信号がきた。「搜索打ち切り我に続け」の指示だった。他の護衛艦も含めて12隻が沈み本船だけが残ったんだと、海面に向かって合掌した。

11月下旬、仏印のサイゴン(現在ホーチミン)に入港した。食料を満載し6隻の船団で、12月下旬に出港しマニラに向かった。戦況の悪化で

反転したり右往左往しながら、高雄港外に20年元旦の夜に到着した。

高雄港在港中の1月中旬、朝から大空襲で直撃弾を受けて炎上浸水、退船命令後、海に飛び込み、川岸を伝わって陸に揚った。数日後、船長の訃報に驚愕し、お寺での葬式に参列した。ご心労をかけたのだと思ひ御冥福を祈った。

2月下旬、内地に帰るために、岸壁に並んでいた夜半に「帝楓丸」の平山はどこか?と兵隊2人が近づいて来た。「私です」と名乗ったら「貴様か、俺の後に付いて来い」と言われ接岸中のタラップを昇り船長室に入った。「信号員を連れてきたぞ」と船長に告げて憲兵は下船した。船長に「早朝出港だ、8時から当直に入ってくれ、それまで休んでおけ」と言われ、職員用の室に案内され感激した。枕元に救命胴衣もあり安心して眠りについた。

突然大きな音と揺れに飛び起き、救命胴衣をつけてブリッジに向かったら「退船だ」と数人が降りて来た。魚雷が当たったと分かり、皆に続いて走り、上甲板より海に飛び込んだ。船から遠くへ離れようと泳ぎながら、雨が降っていたので、ダメかと思つたが、護衛艦に助けられ幸運だった。

商船に移されて、3月末に門司に入港し宿舎で「帝楓丸」の仲間と再会し、無事を喜びあった。

投稿

記録画展を見て

鹿児島市 柳田一郎



柳田一郎さん

平成21年8月25日、会議のため鹿児島県文化センター（宝山ホール）へ向かいました。ちょうど今日から記録画展が始まったところでした。思わず地下の会場に降りました。

鹿児島市の南隣、砂むし温泉で有名な指宿市で、市民の自主制作映画「砂の道の向こう」の撮影が行われています。私は、そのシナリオの原案を書きました。舞台は、「指宿海軍航空隊」と「知林ヶ島（ちりんがしま）」です。

以前から基地の歴史を調べていました。同基地は海軍の水上飛行機の基地であり、水上観測機や水上偵察機、大型飛行艇などが配備されていました。これら水上飛行機の任務には敵潜水艦との闘いがありました。敵潜水艦が狙ったのが、軍艦はもちろん、兵隊や物資を輸送する商船や敵を警戒する漁船でした。そして、

文献を調べるうち、軍に徴用された多数の民間船が沈んだことも知りました。しかし、このように写実的な記録画が残されているとは思いませんでした。

鹿児島県立の野外美術館「霧島アート」の森に勤務する私にとって、絵画は芸術です。そして、それ以上でもそれ以下でもないと思っています。超えた記録、歴史の証言としての貴重な絵画が並んでいました。

証言に基づき描かれた船や船員の最後の姿を多くの人々に見ていただきたいと思ひ、地元新聞の世論欄に投稿しました。「戦争の善悪判断を超えて、ぜひご覧いただきたい」と書きました。

私達の世代は、戦争を忌避するあまり、戦争の知識が少なく、事実すら知ろうとしない傾向もあります。さらに若い世代はもっとそうかもしれません。しかし、その考えは間違っていると思います。戦争は「軍人の特攻」だけの世界ではなく、もっと身近で誰もが参加あるいは巻き込まれざるを得ないということを、この絵画展を見ながら思いました。

物故船員慰霊祭に献花

昨年、各地で行われた殉職船員慰霊祭、物故船員慰霊祭に会長名にて献花し御霊のご冥福を祈りました。



小樽市物故船員合同慰霊祭

- 7月3日 横浜市・成田山横浜別院延命院・「海の月間」横浜地区実行委員会「物故船員慰霊祭」
- 7月8日 北九州市・真光寺・北九州海の日協賛会・「殉職船員無縁塚慰霊祭」
- 8月20日 小樽市・手宮公園小樽船員OB会「物故船員合同慰霊祭」
- 8月30日 気仙沼市・向ヶ森慰霊碑前広場・唐桑町の殉難者慰霊碑保存会「海の殉難者慰霊祭」
- 10月22日 福岡市・西公園・光雲

ご寄付のお礼

神社・福岡海寿会・「物故船員慰霊大祭」

○10月29日 石川県能登町・久田船長石碑前・久田船長顕彰会・「久田船長碑前祭」

寄付金

平成21年8月以降、次の方がたからご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。（敬称略・順不同）

- 飯田成（茨城県久慈郡）海友会（高知市）靖國神社主典・大野義彦（東京都千代田区）柳田一郎（鹿児島市）柏原幸男（鹿児島県肝属郡）須納瀬竹志（いちき串木野市）迫田勝宏（鹿屋市）高田一郎（鹿児島市）飯田恭子（鹿児島市）鮫島夕子（鹿児島市）橋本政雄（東京都中央区）山田三義（横浜市）（株）宝幸トール船員OB会（東京都品川区）松友順三（松山市）内田志賀蔵（佐賀県佐賀郡）

終戦記念日献花料

- 米山隆昭（東京都北区）日本船員福利雇用促進センター（東京都中央区）都竹利年雄（東京都杉並区）日本内航海運組合総連合会（東京都千代田区）
- （敬称略・順不同）

終戦記念日の 献花式

毎年執り行われている8月15日「終戦記念日」の戦没船員追悼の献花式典が横須賀市観音崎公園の「戦没船員の碑」前において、当日正午から武道館にて行われた政府主催の全国戦没者追悼式の進行にあわせて執り行われた。

真夏日の酷暑となる中、当会の現役員、海事関係者に加え昨年からは役員経験者にも参列いただき、合わせて30数名が碑に献花黙祷を行い、戦没者の御霊に祈りを捧げ海洋永遠の平和を願った。



終戦記念日の献花式役職員一同

新加入会員ご紹介

当会は、主要海運会社や関係団体等の法人及び個人の賛助会費、協賛会費、基本財産の運用収入等により運営されています。しかしながら利息の減少や海運会社の合理化にともなう法人賛助会員の減少により非常に厳しい運営を強いられています。

そのような中でご遺族や関係者のご協力による個人賛助会員制度（年1口1万円）・協賛会員制度（年1口3千円）は慰霊・顕彰・援護事業を支える大きな力となっています。

平成21年8月以降、次の方がたが賛助会員・協賛会員に加入されました。厚く御礼申し上げます。

なお、協賛会費は、ご加入の月から1年間となっております。今後ご加入月到来の都度ご請求いたしますのでよろしくお願いいたします。個人賛助会費は毎年四月に請求いたします。

◆ 協賛会員

（敬称略・順不同）

柳生順一（茅ヶ崎市）高藤誠二（徳島県海部郡）利重尚義（東京都杉並区）松澤隆（鹿児島市）上村行治（鹿児島市）片平伸次（南九州市）野口重男（鹿児島県始良郡）植村和佳（北九州市）村田咲子（指宿市）石井修義（東京都狹江市）高合潔（酒田市）木村吉治（鹿児島市）

事務局便り

◆ 戦時徴用船遭難の記録画展

今年の記録画展は平成22年8月24日から31日までの8日間山口県下関市の下関市民会館にて開催予定です。多数のご来場をお待ちしております。詳細は次号でお知らせ致します。

◆ ご投稿お待ちしております。

本誌は皆様からのご投稿をお待ちしております。内容は随想、感想、本誌を通じてのご遺族や関係者の交流など自由です。字数に制限はありませんが、出来れば1800百字程度にまとめ、関連の写真とご自身の顔写真を同封していただければ幸いです。

なお、投稿は当会で若干修正させていただきます。あらかじめご了承下さい。

編集後記

◆ 法人制度改革

一昨年の12月から新法人制度が施行され、既存の各団体は公益法人への認定申請か、一般法人への認可申請かの選択を迫られている。当会も

昨年の夏頃にその方向性を見出し、作業を進めている。

3月に開催される評議委員会・理事会によって、その進路が機関決定されることになる。事業の仕分け、定款の変更、それに伴う規則規程の見直し、会計基準の変更など、制度改革に伴う作業量は相当なもの。体力の蓄積が必修であると共に、チームワークが大事になる。新型インフルエンザが猛威を振るわなければいいなあとと思う。

◆ 節目の第40回追悼式

今年開催予定の戦没・殉職船員追悼式は、第40回の追悼式となる。第30回平成12年には天皇皇后両陛下下行幸啓、第20回平成2年には皇太子殿下下行啓のご臨席をいただいている。

天皇皇后両陛下を始め、皇族の方がたには折にふれ、観音崎公園にある「戦没船員の碑」にお運びいただいている。昭和46年3月に建立されて以来、天皇陛下及び皇族のご献花は11回におよんでいる。節目の年である今年、来歴の記念碑建立を予定している。

追悼式には皇室のご臨席をお願いしているが、晴天に恵まれることを期待する。

（齋藤清伍）